

新中学校開校に向けた準備状況	2
飯山市の1年	4・5
信州デステイネーションキャンペーンについて	6
新型インフルエンザワクチン接種について	9
市民満足度調査の結果	10・11
飯山市の人事行政運営状況	14・15

来年4月の開校に向け2校の校章が決定！

新中学校開校に向けた準備状況

市内の3中学校が統合し来年4月に開校する城南中学校と城北中学校。開校に向けては、昨年3月に作られた「飯山市中学校統合計画」に基づき、飯山市新中学校統合推進委員会で検討・討議を行っています。今回は、いよいよ間近に迫った新中学校の開校に向けた準備状況をお知らせします。



△決定した新中学校の校章・校旗。配色は、城南中学校が天空・千曲川の流れを表す「青色」、城北中学校が山・木々・森の豊かさを表す「緑色」を基調としています。

校章デザインの概要

校章は2校とも同じデザインを採用し、校名と配色で区別されます。校章デザインは、生徒の応募が多かった「ユキツバキ」「羽根ペン」「山」「いい山」を組み合わせてデザイン化。飯山市の象徴となる「ユキツバキ」を中心にすえ、「羽根ペン」を中学校の“中”の文字として組み合わせさせた校章としました。また校章の下部に「城南」「城北」の文字をリボン状にあしらいました。

新中学校の校章が決定

新中学校2校の新しい校章が決定しました。校章の作成にあたっては、今年6月に中学校生徒に作品を募集し、寄せられた案から中学校の美術科の先生も交え「校章選定委員会」でデザイン化。統合推進委員会において協議され、上にした校章を新しいものとして決定しました。**制服・通学カバン等も**校章のほか、制服・通学カバン・体育着等も決定

されており、制服は男子がこれまでどおりの黒色のつめえり、女子は紺色のブレザータイプ(リボンの色・校章パッチで2校を区別)が採用されます。



△女子の制服はブレザータイプに。

校舎の改築も進行中

城南中学校校舎として使われる第一中学校では、統合によりクラスが増えることに伴い、教室の増築工事や第2体育館の建設などが行われています。また城北

中学校校舎として使われる旧照丘高校では、高校として使われていた施設を中學校用に改修する工事や、廊下の木質化工事などが行われています。

開校まであとわずか
このほか、通学路の道路工事や外灯設置、校歌の作成など、現在、急ピッチで新中学校の環境整備を行っています。

開校まであと3ヶ月あまり。何より主役である生徒の皆さんがスムーズに新しい学校で勉強を始められるよう、引き続き準備を進めていきます。



△現在の第一中学校校舎西側に増築工事の新しい教室。

(仮称)「いいやま観光局」設立に向けて

市観光協会が振興公社業務を統合

一般社団法人飯山市観光協会は、湯滝温泉などの施設を運営し地域の振興を行う財団法人飯山市振興公社の業務を統合して、より強力な観光推進を図っていくこととなりました。

これは、公益法人制度の見直しにあわせ、平成26年度末の北陸新幹線飯山駅開業を前に更なる観光誘客力の増強を図るために行うもの。振興公社が行う湯滝温泉、森の家、道の駅「花の駅」



△道の駅「花の駅」千曲川

また来年4月に新組織(仮称)「いいやま観光局」を設立することを指し、今後、市観光協会が設立に向けた協議・準備を行う予定。新組織では観光関係者のみならず、農業・商店・NPO関係者など他産業の

関係者にも参加を呼びかけ、裾野を広げた観光振興を図ります。

この業務統合にあたり、飯山市振興公社は平成22年1月1日に解散、事業を飯山市観光協会に引き継ぎます。

今年も思いっきりスキー・スノーボードを楽しもう！ 市民リフト1日券を配布しました

市では市民の皆さんの健康増進と、飯山市の大切な産業であるスキー場の振興を図るため、毎年、市内のスキー場共通の市民・小中学生リフト1日券引換券をお配りしています。ぜひご家族でスキー場にお出かけください。

市民リフト1日券引換券

12月に各区長さんを通じ、一戸あたり2枚綴りの引換券を全戸配布しました。1枚につき1000円でリフト1日券と引き換えることができます。

小中学生リフト1日券引換券

各小中学校を通じて児童・生徒の皆さんに5枚綴りの引換券を配布しました。1枚につき500円でリフト1日券と引き換えることができます。

引換券が利用可能な市内のスキー場

●斑尾高原スキー場

※小学生以下のリフト料金無料

●斑尾高原サンパティックスキー場

※未就学児はリフト料金無料、毎月第3日曜日は小学生以下のリフト料金無料

●北竜温泉ファミリースキー場

※1月～3月の第3日曜日は小学生以下のリフト料金無料

(市民リフト1日券に関するお問い合わせ)

観光課観光係 ☎62-3111 内線 232



市長の

悠久のふるさとづくり ⑰

飯山市長 石田正人



師走になり、庭の植木や家屋にイルミネーションの灯で彩られる光景が見られるようになりました。見慣れたふるさとの景色も、この季節には少し違って見えます。降り積もった雪に灯りが反射する幻想的な風景は、ふるさと飯山そのものであり、自然がおりなす素晴らしい景色と感じます。

今年「政権交代」という大きな胎動が発生しました。しかし、生み出される政策は決して夢物語であってはならない、そんな事を思う今年のクリスマス。子供たちは流行中のインフルエンザと戦いながら、一生懸命勉強しています。そんな子供たちに大きなクリスマスプレゼントが届けばと願っています。

少子高齢化問題は、日本だけでなく人口の抑制で「一人っ子政策」を行う中国でも大変な状況になっていると聞きます。先日私が中国を訪問したときには、「農村部では子供や若者がいなくなり、食料の自給率も低下し、将来がとても心配だ」と中国の要人が話されていました。子供を育てる環境は自然の営みを感じられる農村こそ最適だといわれます。その地で生まれ育った人は人間性に満ちあふれています。農村は良い心を育て上げる基となっているとも言えるのではないでしょうか。

また、これまで悠久のふるさとを作り上げ、支えていただいたお年寄りには、今度は私たちが支えることでプレゼントへの恩返しをしていくことが大切です。先人から授かった『悠久のふるさと』という最高のプレゼントのお返しに、これからは、子どもの心に夢を、そしてお年寄りに安心安全という『心のクリスマスプレゼント』を贈りたいものです。